



大妻同窓会 広島世羅だより

第4号

発行責任者 植野邦子

大妻コタカ記念会 会長ご挨拶

会長 井上 小百合



四月の総会にお伺いした際に見た三川ダムの桜の美しさは、今も目に焼きついています。この地から若き大妻コタカ先生が、あくなき向学心を持って東京へと出立されたことを思うにつけ、その揺るぎない意志の強さに敬服するばかりです。自らの道をどんどん切り開き、常に前を向いて進まれたコタカ先生の姿勢をお手本に、今に生きる我々は不確実な世にあっても確実な歩みを続けて行きたいものです。「恥を知れ」に代表されるように、年代は違つても同じ学校を卒業したことで育まれた共通の価値観は、同窓生としての強い絆を生み、同窓会活動の大きな原動力になると信じています。同窓会広島・世羅の発展を心よりお祈りいたします。

大妻同窓会 広島世羅 代表者ご挨拶

植野邦子



大妻同窓会広島世羅会員の皆様には御健勝にてお過ごしのことと存じます。
東日本大震災から2度目の秋を迎えました。福島原発、周辺国との領土をめぐる問題等、早急な解決と平和な世を望みます。

母校大妻学院も大きく変わろうとしています。新世紀プロジェクトとして教育施設の2キャンパス(千代田、多摩)への集約、加賀寮は2013年3月に閉寮となります。

大妻記念会と地方同窓会では、卒業生の皆様から加賀寮、狭山台寮、狭山台キャンパスでの思い出や写真を集め「大妻記録遺産」を作ることとなりました。皆様の御協力をよろしくお願ひいたします。

来年度総会でお会いできることを楽しみにしております。

第23回 大妻同窓会 広島世羅 総会



平成24年4月15日(日) 於 世羅町川尻 大妻コタカ先生生家 ごもくめし

総会に参加して

大好貞子



4月15日、同窓会に出席し楽しい1日を過ごしました。大妻コタカ記念会井上小百合会長のご挨拶の中で、「加賀寮」が2013年3月をもって閉寮とのお話があり、40年以上前に在学し初めての寮生活をそこで過ごした者にとっては、感慨深いものがありました。なにしろ、田舎者の私にとって、しかも東京での学生生活は不安がいっぱいのスタートでしたが、入寮し多くの人と交わり、泣き、笑い、女性としての基本を学びました。お母様の「恥を知れ」は、その後の私の人生の道標となりました。病院管理栄養士として在職中、「恥を知れ」の念を忘れず38年間大過なく勤務させて頂く事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

「人間の体について」と題して

岡田吉誼さんから「ヒトはなぜタンパク質を食べ続けなければならぬか?」というお話をいただきました。

身体の組織や細胞は常に作り変え更新され続けています。流れを止める為(個体の死にならない為)私達は食べ続けなければなりません。だからこそ、料理を作りおいしく食する事の大切さを、別の角度から知る事ができました。海の幸、山の幸、肉類、野菜、果物をバランス良く食し、最近のサプリメントに頼りすぎない事を助言していただきました。



岡田吉誼

藤井巴



当日は急に暖かな日差しを浴びると同時に同窓生の明るい声にびっくりで、樹々もみるみる開花し、桜花も最高の景色でした。東京から会長井上小百合様、先輩会友の出席を賜り、貴重なお話を頂戴し、身の引き締まる思いをいたしました。

懇親会では岡田吉誼様に「人間の体について」と題して食の大切さを教えていただき、日々心がけ元気で年齢を重ねたいと思いました。

大妻コタカ先生寸言

大妻コタカ言行録より

人様のお話は一生懸命耳を傾けてお聞きなさい。耳学問も大切ですよ。
話上手は聞き上手。聞き上手の人は決して無駄口をはさんだり、人の話を横取りしたりせず、落ち着いて話を聞き要所要所に適当な受け返事をしてくれます。
話手は知らず知らず愉快に話をすることができ満足感にひたるものです。



オカリナ・ウクレレの体験教室に参加

久恵風穴の里(ごもくめし)

6月22日(金)、総会の反省会ということで集合致しましたら、当日運良く東京芸大器楽科卒業の藤咲真介様、寺本隆様のコンサートの後、各々の楽器をお借りして体験学習をする事が出来ました。大妻のマン



ドリンクラブで活躍された方、只今オカリナ教室に通っておられる先輩もありで、皆さん夢中になり、短時間で「夕焼け小焼け」を合奏するまでになりました。三川ダムから爽やかな風が入り、オカリナの音色に小鳥が共鳴してくれ、ウクレレの音色にカエルが応えてくれました。なんとも言えない心穏やかで幸せなひとときを過ごす事ができました。

世羅のご紹介

太古の昔、ナウマン象が生きていた痕跡も残る、悠久のロマン漂う町、世羅町。

縄文、弥生、古墳時代の出土品、遺跡も数多い。

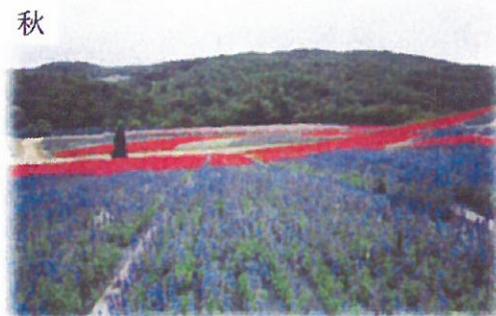
甲山町を中心とする世羅郡の東半一帯は、鎌倉時代以来高野山領大田莊であった。今高野山(いまこうやさん)龍華寺は、大田庄経営の中心寺院として建立され、観音堂、御影堂等が設けられ、高野・丹生明神も勧請され、十二院が一山をなしていた。現在は、福智院、安樂院と龍華寺の一部が残り、本尊十一面観音二軀(国重文)を始め創建以来の遺品が少なくない。



備後大田莊(おおたのしょう)は、平安時代に在地の豪族・橋氏によって開発された荘園と推定されている。その後、平清盛の子である平重衡の領地となり、重衡はさらに大田莊を拡大発展させようとして、永万2年(1166年)には当時絶大な権力の後白河院に寄進した。寿永4年(1185年)には平氏が滅亡し、院はその永代供養料として文治2年(1186年)大田莊を紀州高野山根本大塔へ寄進した。こうして以後270年間にわたり、大田莊は高野山領として営まれることになる。

せら夢高原

世羅町は県北の行政・経済の要所であり、自然と調和のとれた豊かな台地を活かし、活力ある街づくり「全町農村公園構想」に向けて取り組み中です。広大な高原には春夏秋と花ごよみが有り、時期に合わせ見事な花が台地をキャンバスにして雄大に描かれ、大空に溶け込んでいる様は心癒され、和やかな心を育んでくれます。また秋にはブドウ・リンゴ・梨・ブルーベリーなどの果物、また四季折々の野菜が豊富で、自然で育まれた素材による手作り产品も数多いです。まさに町中が農村公園を目指して活動を展開されており、元気を貰える大変すばらしい地区です。是非一度行って体験してほしいです。



お知らせ

★ 年会費 東京への振込み(2000円) 支部(1000円)へもお忘れのないようにして下さい。(会計年度 4月1日～3月31日)

本 部 郵便局振替番号 00170-8-48936 加入者名 「一般財団法人 大妻コタカ記念会」

広島世羅 郵便局振替番号 15180-5195861 「大妻同窓会 広島世羅」

記入事項 姓名(旧姓も), 郵便番号, 住所, 電話番号, 卒業年月, 科, 組, 生年月日

★ 平成24年度の広島世羅総会は、平成25年5月に東広島(西条)において開催予定です。皆さん

お誘い合わせてお集い下さいますようにお待ちしております。

編集後記

皆様の御協力で同窓会広島世羅だより第4号を無事発行できましたのでお届け致します。

今年も全世界で色んな出来事がありました。楽しい事もそして恐怖を覚えるような事などあり、

この先どうなるのかと思うこともある昨今ですが、毎日をプラス思考で過ごしましょう！！

皆様からの意見・感想・要望・アイデア等お寄せくださいますよう宜しくお願いします。 山中美也子

